



発行：日本アメリカンフットボール審判協会関東審判部

〒112 東京都文京区後楽 1-1-8 03-3815-2210

発行人：塩崎貢正 編集責任者：飯島秀男

1997. 7. 19 発行 97 年度 第 1 号 (通巻 18 号)

FOA NEWS

関東審判部の一員で前日本協会専務理事の笹田英次氏がこのほど日本アメリカンフットボール協会の理事長に就任されました。就任にあたってのご挨拶をいただきましたので、今号の巻頭言として掲載いたします。

日本協会理事長就任にあたってのお願い

笹田 英次

私は、納会の席で今後高校の審判を中心にフットボールの一般への普及に邁進したいと話しましたが、それを裏切るような結果になりました。自分一人でやるより大勢の力を結集できる立場になれば、それはまたそれで方法もあるかなと考えを変えて、古川前理事長の後を受けて大役を引き受けることに決心いたしました。引き受けた以上は、私の全身全霊を傾けて精一杯の努力をしてみます、と力んでみても、私の非力ではできる範囲は知れていますので、皆様の力を拝借して何とか無事に任期を全うしたいと思っておりますので、よろしくご支援の程お願いいたします。

審判生活で培った公平な感覚と、日本全国を回った経験を生かして少しでも根の弱い、細い地域のフットボールの根を強く、太くすることに重点を置きたいと思っております。そこで、審判部の皆様にお願ひがあります。皆様が持っているフットボールに関するあらゆる情報とアイデアを教えてください。何時でも、何処でもお会いした時に話してください、時間が許せばそちらに出向くこともいといません。正しい情報と良いアイデアはフットボール界にとって宝です。こんなことは知っているだろう、というようなことも意外に知らなかったり、こんな小さなことはどうでもいい、というようなことでも、使い方次第で宝となるものなのです。

皆様からの情報は、私なりに十分咀嚼して役に立てますし、秘密が必要ならそれも守りますが、原則は公開です。多くの人が持ち寄った情報とアイデアを公開し、討論することで、よりよい方法が見つかるものと確信しております。どうぞ遠慮なく私と話してください、関東審判部の皆様のみならず、審判に携わる人ならどなたでも結構です、と勝手なお願いをいたしましたので挨拶に代えさせていただきました。

97 年度総会

去る 5 月 29 日 (木) 機械振興会館地下 3 階会議室で 1997 年度総会が開催されました。当日時点の在籍者数 221、本人出席 41、委任状 85、中尾理事に委任 1、未回答 (白紙委任) 80、非委任 5 で総会成立。議長に桜井氏、書記に玉崎氏を選出しました。冒頭、中尾部長代行より、藪内前部長の辞任とそれに関連した事項についての説明があり、審判登録が 271 人、年間担当ゲーム数が 488 試合、高校のゲームを含め延べ派遣人数が 4,442 人 (昨年比 185 人増) となったことなどを含む 96 年度活動報告、交通費 58.1%、教育費 4.8%、事務費 7.4%、福利厚生費 5.1% などの構成比の同年度会計報告が行われ、拍手で承認されました。続いて 97 年度の活動計画案、予算案が審議され、97 年度活動計画では ① 全試合における審判の円滑な遂行 ② 教育活動の充実 ③ 機構改革案実現へ向けての具体化 ④ コミュニケーションの活性化 ⑤ 他組織との交流 ⑥ 部の効率化運営 ⑦ 審判用具の見直し —— が提案され、予算案とともに拍手をもって承認されました。

新執行部選出

総会では引き続き推薦委員会鈴木（関東）委員長より任期满了に伴う新理事の選挙結果が報告され、以下の新執行部が選出されました。なお、選出結果報告後、監事として再任された喜入博氏より監事職辞退の申し出があり、本日時点で監事1名は欠員となっています。

部 長	塩 崎 貢 正	
副部長	伊 藤 義 樹	運営担当
理 事	佐 藤 浩 行	教育・運営担当
理 事	東 俊	教育・機構改革担当
理 事	田 中 淳 夫	教育・新人担当
理 事	飯 島 秀 男	総務担当
理 事	根 岸 作 力	総務担当
理 事	佐 藤 繁 樹	組織・用具担当
理 事	廣 瀬 進	会計担当
理 事	國 崎 智 明	会計担当
監 事	茂出木 茂春	

（根岸理事および國崎理事は委嘱理事です）

飛躍の一年に

関東審判部・部長 塩崎 貢正

ベテランの荻内さんからバトンタッチし、荻内さんはじめ諸先輩が築かれた基盤を大切に、更なる「飛躍の一年に」と考えます。特に X リーグ、エリアリーグが2年目を迎えた今年、私たち関東審判部は、いくつかの新しい試みにチャレンジしたいと思います。これらはほんの一握りの役員では実現できるものではありません。委員会の委員の皆さん、各ブロック、ミニクリをまとめていられる皆さんを中心として、部員皆さんの協力を得て実現を図りたいと思います。

また今年は、一昨年より検討を重ねてきた機構改革案が実施に向けて結論をあるいは一部が実施に移される年でもあります。私たち関東審判部は、ボランティアの意識で参加いただいている方々の集団ですが、（多くの方は、審判の義務化にカウントされている）強制参加と感じている人たちとの融合を図り、目標に向けてチャレンジしていきたいと考えます。

また、距離の遠かった審判部の運営部隊と部員の方々

の間を近づける努力も行います。そして、フットボールの発展の一助となるため、昨年開始した X リーグ部でのレフリーマイク使用に加え、ルール、試合展開が観客にも分かりやすいいくつかの試みも実施したいと思います。

もう皆さんは十分理解していただいていることですが、関東審判部の使命は、チーム・関係者だけでなく、一般の方々からも「信頼される」審判を行うことです。近年の厳しいゲーム展開を、高いスキルと、それぞれの方々が持ち合わせている豊富な経験でマネージメントできるよう、インストラクタ委員会を中心に、皆さんをバックアップしていきます。

いずれにしても、皆さんは大切な余暇の時間を審判活動にあてるわけで、せっかくやるのであれば「楽しく」できなくてはなりません。しかし、審判としての「プロ」の集団として認められるよう努力することも忘れず、皆で頑張りましょう。

以下、選出された各理事の抱負を掲載します。

今年度より塩崎部長のお手伝いを副部長としてさせていただくことになりました。これまでの2年間、理事として主に運営を担当してきましたが、その間に関東大学連盟のリーグ編成替え、そして社会人協会の X リーグ発足と我々にも大きな波がありました。

高校、大学でのプレーヤーの激減という状況の中、関係者の努力により今年の秋は X リーグが関東／関西とも全試合ノーカットで TV 中継されることになりました。より楽しい興味を持ってくれるゲームを実施できるように是非関東審判部もオフィシエイティング技術を向上していきたいと思います。

暑い合宿を乗り越えて秋のリーグ戦を迎えるプレーヤーの方々の為に皆さんのご協力をお願いします。

（伊藤義樹・副部長＝再任）

教育担当として思う事は、様々なレベルでの「教育に対する要望」をどれだけ聞けるか、である。また、審判員の義務化の条件が緩和された今年、審判部の構成員の意識の変化を期待している。ボランティアの心と、専門家の技能を！

（佐藤浩行＝新任）

機構改革を担当します。昨年度の皆さんの答申を受けて、本年度は具体化のための1年間と位置づけたいと考えております。今年度の活動も、たくさんの部員の方々による分科会方式で進めたいと考えておりますので、ふるってご参加ください。提案した制度全部について、来年度の総会に提案していけるよう、また、実現可能な昨年度の提案については出来るだけ早い実現を目指して活動を進めて行きたいと思っております。よろしくご協力をお願いします。

(東 俊=再任)

この度、理事に選任され、リクルートと教育を担当することになりました。いろいろとわからないことばかりですが、「審判はプレーヤーのために存在する」ということを忘れずにがんばりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

(田中淳夫=新任)

前期に引き続き理事を拝命しました。本年度より総務を担当します。義務化緩和元年に登録業務を担当することになり、前年に比べて若干小さくなった所帯を文字どおりチームワークでまとめていきたいと考えています。また、部員間のコミュニケーションをより一層図る FOA ニュースの発行も担当します。部員の皆さんに情報や記録などのあらゆるサービスを提供したいと思っております。私自身が微力なため、根岸理事、総務委員の方はもとより、部員の皆様のご協力をお願いいたします。

(飯島秀男=再任)

総務担当として、部員間のコミュニケーションがさらに良くなるように環境整備をすすめていきたいと思っております。不慣れなため至らぬ点多々あるかと思いますが、よろしくお願いします。

(根岸作力=委嘱・新任)

20数年間、端から見て今までのんびりと審判活動をしてきましたが、今回、推薦され理事として活動させてもらうことになり、組織、用具を担当することに

なりました。各地区のブロックリーダーに今後お世話をおかけすると思いますが、よろしくお願いいたします。各ミニクリにおいて、現在参加者が固定してきているようですが、参加されている人たちや出たくても出られないという皆様の要望で開催場所をあと2~3カ所増設したいと思っております。参加応援をよろしくをお願いします。

(佐藤繁樹=新任)

理事に就任して、私は、理事会などで常に私自身が念頭に置いている①日本のアメリカンフットボールを発展させるにはどうしたらよいか②発展させるための具体的な実現方法③発展させるためのわれわれの組織の位置づけ④審判部員の意識の統一——といったことを目標に職に当たらせていただきたいと考えています。職務としては会計を担当します。明朗な会計処理、会計のオープン化に心がけたいと思っています。ご協力をよろしくお願いします。

(廣瀬 進=再任)

部長からのご指名で会計を担当することになりました。審判部の運営がスムーズにいくよう迅速な処理をこころがけ、同時に、チェック機能としての役割と責任を果たせるよう、力を尽くしていきたいと思っております。

(國崎智明=委嘱・新任)

前期に続き監事を務めさせて頂く事になりました。今期は、前期の経験と、4期8年間の理事としての経験をいかし、本来あるべき理事会のお目付役という役割よりも、理事の方々の良き相談役として、共に奮闘していきたいと思っております。よろしくお願いします。

(茂出木茂春=再任)

日本審判協会の活動

私たち関東審判部が所属している日本アメリカンフットボール審判協会(以下:審判協会と略す)の活動についてお知らせします。

審判協会は、日本アメリカンフットボール協会(以下:日本協会と略す)の中の審判委員会を兼ねるもので(日本協会の中では、それぞれの活動組織を委員会と称し

ている)、このことから日本協会のひとつの団体として位置づけられています。

目的としては、

- ① 審判技術向上のための意見交換
- ② 公式規則の周知・伝達
- ③ 標準メカニックの普及
- ④ 加盟団体相互の交流

などがあげられます。

関東審判部理事会は、審判協会へ派遣する理事を次の基準で選任し、4人を送りました。

- －関東審判部を代表して公式意見を表明できる者。
- －審判協会の活動目的に合った役職で活動している者。

審判協会の理事は97－98年度、下記の12人が担当しています。

佐伯 守康(関 西・理事長)

塩崎 貫正(関 東・副理事長)

東 俊(関 東)、東元 春夫(関 西)

伊藤 義樹(関 東)、伊敷健二郎(関 西)

伝田 晴久(関 東)、安田 隆彦(関 西)

藤木 裕行(北海道)、服部 昌樹(東 海)

清野 芳則(東 北)、松井 俊宣(北 陸)

審判協会では、第一回理事会を6月28日に関西・西宮スタジアム内で行い、下記の討議・確認を行いました。

- ① 今期役員・理事の確認
- ② 日本協会選出理事の確認

日本協会選出理事については、笹田英次(関東)、伊佐守康(関西)両氏を確認しましたが、笹田氏が日本協会の理事長に選任されたため、後任として塩崎貫正氏を選出しました。

- ③ 事業計画

- －各地区の審判技術の向上
- －地域間格差の是正
- －CFOA加盟継続

- ④ 7人制メカニック発表
- ⑤ 各地区の近況報告

総会「提案事項」に対する回答

97年度総会では、たくさんの質問や、提案が寄せられましたが、その席上、部員の皆さんに約束した下記項目について、当紙面をお借りして回答させていただきます。(理事会)

関東審判部・運営費用の

支出チェック・システム

昨年4月から理事会では、部の運営に使われる費用を、公正・公平に行うため、次のような「使用基準」と、その「処理運用」に関する取り決めを行い、活動をしていますので、紹介します。

使用基準

1. 渉外費用(関連団体との会合費用)
会食をし、その費用を支出する場合は、その目的、参加者が妥当であることが条件となります。
具体的な費用は一人5,000円以内で合計金額が20,000円以内であることが条件です。
 2. 宿泊費・食事手当(各10,000円/5,000円)
審判活動で遠隔地に出張し、宿泊しなければならない時に、宿舍・食事が用意されなかった場合に支払われます。
 3. 派遣交通費の算出方法を変更
年間決まって派遣される派遣先毎に、その費用を定額化し、過度に支出される費用の支払いを防止するとともに、精算処理が不要になったことにより、事務処理の効率化が可能になりました。
 4. 領収書のない費用支出
公共交通機関を除き、すべての支出に対してオリジナルの領収書が必要なことを再確認しました。
やむを得ずこれらの条件を逸脱する場合は、部長(部長は総務担当)の承認を得ることとしました。また、請求精算の定型フォームを改定し、これらの確認が容易にできるようにするとともに、それぞれの確認内容を記録として残るようにしました。
- #### 処理運用の基準
1. 会計担当を機能別に、入出金担当と管理担当を配置し、互いにチェックできる体制としました。

2. 運営上必要となる「仮払い金」の管理を徹底しました。具体的には金額・用途の審査、精算遅延者への勧告などです。
3. 請求内容の妥当性を確認・報告します。
4. 月例理事会で精算遅延状況の報告を行います。

理事会から

新執行部選出に伴い、下記の委員会委員が選任されました。(順不同、敬称略)

総務委員会 (担当理事: 飯島・根岸)

玉崎 隆 (早大・B)、横野 一志 (神工・G)
大野 和明 (慶応・B)、馬島 敦 (日大・A)
水野 拓也 (東工・A)、川田 丈浩 (京大・B)
花岡 静夫 (専修・F)、森 賢 (武蔵・H)

7タイム委員会 (同: 伊藤・佐藤浩)

常守 康昌 (和光・A)、松丸 真一 (関園・H)
松本 和義 (学芸・D)、白井 健二 (埼玉・D)
白倉 康則 (武工・E)、市川 幸春 (学芸・E)
松本 龍太 (成蹊・A)、北 文彦 (電通・C)
田村 恭則 (上智・E)

インストラクタ委員会 (同: 佐藤浩・田中・東)

内藤 伸広 (日大・A)、宮島 敦史 (千葉・A)
田村 芳美 (日大・E)、田口 真行 (中央・F)
七久保裕哲 (早大・F)、田村 俊久 (明学・H)
阿部 浩司 (専修・H)、森井 健一 (独協・B)
安川 隆昌 (農工・G)

リクルート委員会 (同: 田中・佐藤繁)

猪野 和司 (成蹊・A)、山田 隆市 (国士・B)
植野 浩史 (鳥山・C)、知念 宏 (創価・D)
富田 明彦 (上智・E)、佐藤 昌信 (東経・F)
笹田 康司 (国士・G)、丸山 賢史 (東農・H)

なお、理事会では、上記の委員会のほかに東理事が担当する機構改革委員会も財政、資格、登録、組織、選挙、海外派遣、ボード、7タイム、規約の各分科会方式で発足させる予定です。人選などにつきましては、決定次第広報する予定です。

SFOA派遣について

理事会では、SFOAクリニックへの関東審判部からの研修派遣を再開することを決定しました。今年は8月7日からの日程で、テキサスで開催されるSFOAクリニックに伊藤副部長、佐藤浩理事を派遣します。派遣に当たっては、本場の情報収集および今後の派遣の受入れ態勢などの視察も行う予定です。

新人紹介

今年も新人 22 人が登録され、秋季リーグ戦から皆さんとクルーを組みます。紙面の関係上、氏名、出身校、所属ブロックのみの紹介となりますが、クルーを組む際はよろしくご指導ください。

(ブロック順、敬称略)

波田 哲二 (横国・A)、大倉 明彦 (立正・A)
佐藤 栄一 (早大・B)、藤原 健吾 (東外・C)
立木 亘 (千商・C)、川崎 恒紀 (立正・C)
下川 優 (帝京・C)、松浦 豊 (日大・D)
佐野 健太 (早大・D)、三木英二朗 (帝平・D)
丹代 円 (埼玉・D)、石館 真 (学習・E)
遠藤 慶一 (横市・E)、日向野直也 (足工・E)
吉野 修一 (神外・F)、吉村 高光 (帝平・F)
佐藤 雄大 (東歯・G)、金子 信義 (白鷗・H)
山根 正 (足工・H)、中村 直 (山学・H)
松崎 善直 (成城・H)、細川 智 (一橋・H)

今後の日程について

【クリニック関係】

7月19日～20日 合宿クリニック（於：清里）
 27日 レフリークリニック
 （機械振興会館）
 8月23日・24日 秋季全体クリニック
 （機械振興会館）

秋季シーズン中の地域別クリニックについては、

9月＝16日～19日

10月＝20日～24日

11月＝17日～21日

12月＝15日～19日

の間に開催予定です。

また、全体クリニックは10月7日（火）・9日（木）に開催予定です。

【リーグ戦関係】

8月30日 大学1部・社会人2部リーグ
 開始
 9月12日 Xリーグ開始
 13日 大学エリア1部リーグ開始
 20日 大学エリア2部リーグ開始
 10月10日 医科歯科リーグ開始
 12日 ラッシュェボウル（山梨）
 11月9日 大学1部リーグ戦終了
 15日 関東地区高校決勝戦（大井第2）
 16日 Xファイナル6（横浜スタジアム）
 23日 大学関東選手権準決勝（川崎）
 30日 Xファイナル6準決勝（横浜）
 12月6日 医科歯科優勝決定戦
 1部2部入れ替え戦
 7日 関東大学選手権決勝（川崎）
 12日・13日 入れ替え戦12試合
 （川崎・大井第2）

【ボウルゲーム関係】

12月17日 東京スーパーボウル
 （東京ドーム）
 20日 甲子園ボウル
 21日 高校選手権クリスマスボウル
 （川崎）
 23日 ジュニアオールスター戦
 （川崎）
 1月3日 第51回ライスボウル
 11日 カレッジオールスター戦
 関東地区高校オールスター戦
 （川崎）

【編集後記】

約半年振りに発行にこぎつけました。担当も飯島理事に代わり、「少ない予算」（同理事）の中でのなるべくリアルタイムに近い発行を心がけたいと考えています。ご投稿をお待ちしています、という使い古されたご挨拶だけでなく、出稿依頼を半ば強引にお願いする事もあろうかと思しますので、よろしくお願いします。

通巻No.は第14号がダブっていましたが、第18号としました。

編集担当：花岡静夫

森 賢 mail to

飯島理事 FAX
